



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場会社名 名古屋鉄道株式会社

上場取引所 東名

コード番号 9048 URL <http://www.meitetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山本 亜土

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 内田 亙 TEL (052)588-0846

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	135,686	0.6	6,513	8.7	6,383	15.8	4,364	21.0
25年3月期第1四半期	134,820	0.9	5,989	46.8	5,510	77.0	3,606	201.6

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 6,722百万円 (363.7%) 25年3月期第1四半期 1,449百万円 (△11.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	4.96	4.75
25年3月期第1四半期	4.10	3.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,097,774	239,521	20.2
25年3月期	1,102,975	235,589	19.7

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 221,656百万円 25年3月期 217,736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	282,000	△1.4	13,200	△5.9	12,100	△4.1	5,100	△22.7	5.80
通期	610,000	0.0	29,100	△10.0	26,500	△8.0	14,500	13.9	16.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	881,584,825 株	25年3月期	881,584,825 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	2,465,005 株	25年3月期	2,450,583 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	879,129,522 株	25年3月期1Q	879,184,191 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料の入手方法について

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

○同日開示資料

平成26年3月期第1四半期 決算説明資料

(注) 上記の資料は、本日(平成25年8月8日)、T D n e t で開示するとともに、当社ホームページに掲載しております。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)におけるわが国経済は、政府による大胆な金融緩和策により急速に円安・株高が進み、企業生産活動の改善や個人消費の緩やかな回復が見られた一方で、株価の乱高下や海外の景気下振れリスク、原材料価格高騰など先行き不透明な状況で推移しました。こうした状況下、当社及び当社グループの各事業部門は積極的な営業活動と経営の合理化に努めました結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は1,356億86百万円(前年同期比0.6%増)となり、営業利益は65億13百万円(前年同期比8.7%増)、経常利益は63億83百万円(前年同期比15.8%増)、四半期純利益は43億64百万円(前年同期比21.0%増)となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。

①(交通事業)

鉄軌道事業については、当社では、通勤型車両4000系を4両導入し車両の更新を行ったほか、高架橋柱などの耐震補強、都市計画事業の一環として高架化工事を進めるなど、安全面の強化に努めました。営業施策面では、乗車券と鶴飼観覧乗船券などをセットにした「木曾川うかいプラン」の販売など沿線観光キャンペーンを積極的に展開し、旅客の需要喚起に努めました。

バス事業については、名鉄バス(株)では、新規路線として愛知淑徳大学線を開設し運行を開始したほか、「昇龍道プロジェクト」の一環として、名古屋中心部～中部国際空港を結ぶ空港リムジンバス「セントレアリムジン」の運行を開始し、需要の取り込みを図りました。また、全車両にドライブレコーダーとデジタルタコグラフを一体化した次世代型安全対策機器の導入を開始し、安全管理の強化に努めました。

この結果、交通事業の営業収益は396億29百万円(前年同期比0.4%増)となり、営業利益は48億79百万円(前年同期比15.7%増)となりました。

②(運送事業)

トラック事業については、運輸グループ各社のシステムの統一化を図るため、グループの合同プロジェクトとして情報システム開発室を立ち上げたほか、営業拠点の集約等を引き続き進め、経営の合理化を図りました。

海運事業については、太平洋フェリー(株)では、本年4月に開設40周年を迎えた北海道航路(名古屋-仙台-苫小牧間)にて「就航40周年キャンペーン」を展開し、旅客の利用促進を図りました。

しかしながら、トラック事業において取扱量は増加したものの輸送単価の下落もあり、運送事業の営業収益は327億81百万円(前年同期比1.2%減)となり、営業利益は7億77百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

③(不動産事業)

不動産賃貸業については、当社では、昨年7月に供用を開始した「名古屋クロスコートタワー」のほか、リニューアル工事を進め昨年8月よりテナントを誘致した「名鉄バスターミナルビル」が寄与し、増収となりました。また、名鉄協商(株)では、名古屋市と業務提携をし、市営住宅9団地にコインパーキングを順次設置するなど顧客獲得に努めました。

不動産分譲業については、分譲団地「名鉄陽なたの丘 蒼空の街」の販売を引き続き進めました。

しかしながら、不動産分譲業における分譲マンションの販売引渡戸数が前年同期に比べ減少したことにより、不動産事業の営業収益は127億12百万円(前年同期比2.6%減)となり、営業利益は9億90百万円(前年同期比20.7%減)となりました。

④(レジャー・サービス事業)

ホテル業については、「名鉄ニューグランドホテル」では、柔軟な営業施策により増収となったほか、「セントレアホテル」においては、法人需要の取り込みなどにより、また「名鉄イン」では、法人契約の獲得に加えインターネットを利用した拡販への積極的な取り組みにより宿泊者数が増加しました。

観光施設については、(株)名鉄インプレスでは、「野外民族博物館リトルワールド」にて本年3月に新規オープンした「トルコ イスタンブールの街」が寄与し、入館者数が増加しました。また、中央アルプス観光(株)では、「駒ヶ根高原家族旅行村 アルプスの丘」をリニューアルオープンするなど、新規顧客やリピーターの獲得に努めました。

この結果、レジャー・サービス事業の営業収益は126億14百万円(前年同期比3.0%増)となり、営業損失は前年同期に比べ3億23百万円収支改善し77百万円となりました。

⑤ (流通事業)

百貨店業については、(株)名鉄百貨店では、一宮店において地下1階・4階フロアをリニューアルオープンし、顧客サービスの向上を図りました。また、輸入車販売においては、積極的な営業活動により中古車販売台数が大きく増加し、増収となりました。

その結果、流通事業の営業収益は、348億2百万円(前年同期比4.0%増)となり、営業利益は3億89百万円(前年同期比118.4%増)となりました。

⑥ (その他の事業)

その他の事業では、設備工事や保守整備事業での減収により、営業収益は134億71百万円(前年同期比7.6%減)となり、営業損失は前年同期に比べ3億75百万円収支悪化し6億37百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末においては、総資産が前連結会計年度末に比べ52億円減少しております。これは主として未収債権の回収などにより受取手形及び売掛金が119億40百万円減少したことなどによるものであります。

また、負債の部は前連結会計年度末に比べ91億32百万円減少しております。これは主として、有利子負債が全体で22億27百万円増加した一方で、支払等により支払手形及び買掛金が149億79百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ39億31百万円増加しております。これは主として、利益剰余金が17億43百万円、保有する株式の時価上昇などにより、その他有価証券評価差額金が21億87百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、前回公表時(平成25年5月9日)より変更はありません。なお、個別の業績につきましても、当初の業績予想から変更はありません。

業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,420	12,220
受取手形及び売掛金	59,922	47,981
短期貸付金	7,508	7,494
分譲土地建物	56,221	60,048
商品及び製品	7,319	7,172
仕掛品	391	1,038
原材料及び貯蔵品	3,956	4,003
繰延税金資産	5,805	5,989
その他	12,391	15,489
貸倒引当金	△262	△244
流動資産合計	163,674	161,193
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	322,812	320,001
機械装置及び運搬具(純額)	63,890	62,951
土地	367,197	367,240
リース資産(純額)	8,961	8,579
建設仮勘定	50,326	51,483
その他(純額)	7,805	7,521
有形固定資産合計	820,994	817,777
無形固定資産		
施設利用権	7,099	6,911
のれん	278	258
リース資産	1,247	1,124
その他	3,277	3,359
無形固定資産合計	11,902	11,653
投資その他の資産		
投資有価証券	78,783	81,239
長期貸付金	302	293
繰延税金資産	12,807	11,075
その他	16,358	16,382
貸倒引当金	△1,847	△1,840
投資その他の資産合計	106,404	107,151
固定資産合計	939,301	936,581
資産合計	1,102,975	1,097,774

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,390	52,411
短期借入金	135,133	150,208
1年内償還予定の社債	—	10,000
リース債務	3,829	3,646
未払法人税等	3,651	1,665
繰延税金負債	1	1
従業員預り金	18,537	18,667
賞与引当金	5,247	3,082
整理損失引当金	69	67
商品券等引換引当金	1,761	1,755
その他	88,065	95,707
流動負債合計	323,689	337,214
固定負債		
社債	119,995	109,994
長期借入金	294,140	281,758
リース債務	6,919	6,508
繰延税金負債	3,696	3,662
再評価に係る繰延税金負債	63,971	63,966
退職給付引当金	28,904	28,998
役員退職慰労引当金	1,726	1,739
整理損失引当金	3,828	3,786
商品券等引換引当金	108	101
その他	20,403	20,521
固定負債合計	543,695	521,038
負債合計	867,385	858,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	84,185	84,185
資本剰余金	18,428	18,428
利益剰余金	43,394	45,137
自己株式	△756	△760
株主資本合計	145,251	146,990
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,387	11,574
繰延ヘッジ損益	10	10
土地再評価差額金	63,139	63,122
為替換算調整勘定	△52	△42
その他の包括利益累計額合計	72,485	74,665
少数株主持分	17,852	17,865
純資産合計	235,589	239,521
負債純資産合計	1,102,975	1,097,774

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収益	134,820	135,686
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	116,639	117,176
販売費及び一般管理費	12,190	11,996
営業費合計	128,830	129,173
営業利益	5,989	6,513
営業外収益		
受取利息	29	16
受取配当金	753	845
持分法による投資利益	101	417
雑収入	741	417
営業外収益合計	1,626	1,697
営業外費用		
支払利息	2,030	1,763
雑支出	74	63
営業外費用合計	2,105	1,827
経常利益	5,510	6,383
特別利益		
固定資産売却益	225	336
工事負担金等受入額	168	124
投資有価証券売却益	138	121
その他	44	35
特別利益合計	576	617
特別損失		
固定資産売却損	28	14
減損損失	26	37
固定資産除却損	27	36
工事負担金等圧縮額	149	116
投資有価証券評価損	68	246
その他	40	54
特別損失合計	341	505
税金等調整前四半期純利益	5,745	6,495
法人税、住民税及び事業税	1,474	1,621
法人税等調整額	334	448
法人税等合計	1,809	2,070
少数株主損益調整前四半期純利益	3,935	4,425
少数株主利益	329	61
四半期純利益	3,606	4,364

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,935	4,425
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,363	2,007
為替換算調整勘定	5	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△128	279
その他の包括利益合計	△2,486	2,296
四半期包括利益	1,449	6,722
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,198	6,561
少数株主に係る四半期包括利益	251	160

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	運送事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他の事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額 (注)3
営業収益									
(1) 外部顧客に対する営業収益	38,907	33,069	11,288	12,011	29,945	9,599	134,820	—	134,820
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	574	96	1,758	233	3,530	4,974	11,168	△ 11,168	—
計	39,481	33,165	13,046	12,244	33,476	14,573	145,988	△ 11,168	134,820
セグメント利益又は損失(△)	4,215	825	1,248	△ 400	178	△ 261	5,805	184	5,989

(注)1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

設備の保守・整備、航空事業、ビル管理メンテナンス業、保険代理店業等

2. セグメント利益又は損失の調整額184百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	運送事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他の事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額 (注)3
営業収益									
(1) 外部顧客に対する営業収益	39,045	32,674	10,982	12,247	31,258	9,478	135,686	—	135,686
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	584	106	1,730	367	3,544	3,992	10,326	△ 10,326	—
計	39,629	32,781	12,712	12,614	34,802	13,471	146,012	△ 10,326	135,686
セグメント利益又は損失(△)	4,879	777	990	△ 77	389	△ 637	6,321	191	6,513

(注)1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

設備の保守・整備、航空事業、ビル管理メンテナンス業、保険代理店業等

2. セグメント利益又は損失の調整額191百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。